



うちのイチ押し!

阿倍野市民学習センターのイチオシ!

●あなたの教室開設を応援します!

大阪市立阿倍野市民学習センターでは、生涯学習活動に関する教室を新たに立ち上げる個人・グループを募集します。あなたの知識や技術・経験を活かして、新しい教室を開設しませんか?

概要

- ・実施期間内(概ね平成28年10月から29年3月)で、センターが指定する部屋・時間帯で連続した教室を開催できること。
- ・教室にかかる部屋使用料は開設者の負担となります。
- ・使用する部屋は優先的にセンターが確保します。
- ・教室実施に当たっては、センターが受付事務と広報協力を行います。



申込 ☎

開設の申請、ご相談は電話でご予約ください **06-6634-7951**

阿倍野市民学習センターバックアップ担当まで

平成28年度阿倍野市民学習センター はじめま専科

ことば遊びで頭の体操!

PartIV ~ おりく 折句の世界 ~

知られざる日本語の姿を、多様なことば遊びや文字遊びを通して学ぶとともに、クイズ形式で日本語を楽しむ講座です。楽しく学びながら頭の体操を行い、脳の活性化・認知症予防をはかっていきましょう!

日 時 7月21日(木) 13:30 ~ 15:30 (受付 13:00 ~)

費用 1,000円

定員 100名(多数抽選) **しめきり** 7月11日(月) 必着

申込方法 往復はがき、来館、インターネット

講師 小野恭靖(大阪教育大学教授)

問合せ先 大阪市立阿倍野市民学習センター
会場 〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-10-1-300
TEL:06-6634-7951 FAX:06-6634-7954

折句とは…

短歌・俳句などの各句の上に物名などを一字ずつ置いたもの。

(例)「かきつばた」

から衣きつつなれにしうましあれば

はるばるきぬる たびをしぞおもふ

(伊勢物語)

※新村出編『広辞苑』第四版 岩波書店より



おおさか歴史探訪 102

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

未完におわった和気清麻呂の大事業

— 地形に残る排水路の痕跡 —

6月になり梅雨の季節となりました。今年も長雨による被害が気になるところです。

河内平野には北東から淀川が、南東からは大和川が流れ込んでいますが、大阪湾との間を南北に上町台地がせき止めるような地形でしたから、古代より幾度となく大洪水が起り、流域の人々に甚大な被害を及ぼしました。そのため江戸時代の宝永元(1704)年に、中甚兵衛らが大和川を上町台地を横切る現在の形に付け替えたことは、よく知られています。

同様の試みは、これよりはるか以前にもおこなわれていました。『続日本紀』という史料に、延暦7(788)年に和気清麻呂が延23万人を動員し、上町台地を開削し、大和川の水流を直接大阪湾に流し込むという事業をおこなったことが記されています。和気清麻呂は当時、この地域を治める行政の最高責任者でした。この工事は困難なものであり費用が高んだために途中で断念せざるを得ませんでした。現在の地形に、その名残が見受けられます。

天王寺区にある堀越神社東側の谷町筋が、神社から南でゆるやかに窪んでいることがわかります。この窪みは西にゆくと茶臼山の南側の“河底池”に続きます。この地域一帯の地形(地図の等高線)をみると、東西に谷状に窪みが続くことがわかります。その後の宅地造成や道路工事などにより、谷が埋められたり地形が変形してわかりにくくなっていますが、ボーリング調査の結果をみると、複数の地点で地下に同じ高さで谷の底が見つかっていて、この窪みが自然の地形ではなく人工的なものであることがわかります。

未完におわったとは言うものの、このような所にも災害を防ごうとした先人の努力の跡が見て取れます。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



河底池を西から望む。左の小山は茶臼山、正面の橋は和気橋と呼ばれている。